

広報委員長会議次第

開催日時 令和8年(2026年)2月4日(水)
午後1時30分から
開催場所 市役所3階全員協議会室

1 開 会

2 市長挨拶

3 議 題

(1) 2月の広報事項

①物価高騰対応生活支援給付金給付事業について

(福祉政策課)

②自動運転の技術実証実験の開始について

(地域交通課)

(2) 市政への要望事項等

①2月の市政への要望事項等

4 閉 会

◀ 資料データを市ホームページで公開しています ▶
「トップページ」⇒「小田原で暮らす」⇒「行政経営」
⇒「広報・広聴」⇒「広報委員」⇒「広報委員長会議」



物価高騰対応生活支援給付金給付事業について

1 事業概要

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の食料品の物価高騰に対する特別加算」を活用し、物価高騰の影響を受けた生活者の負担を軽減するために、市民一人当たり現金5,000円を給付する。

2 支給対象

基準日(令和8年2月1日)において小田原市に住民登録がある世帯の世帯主に支給する。

3 支給額

世帯員1人当たり5,000円

4 申請方法等

(1) 本市の給付金を受給した実績を有する口座又は公金受取口座がある方
支給のお知らせを発送し、期限内に口座変更等の申し出がない方については、そのまま支給する。

(2) 上記以外の方

申請書を送付し、電子申請又は返送された申請書に記載された内容をもとに支給する。

※申請期限は、6月末とする。

5 支給件数(見込み)

185,424人

92,921世帯

6 財源

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(国10/10)

7 スケジュール(予定)

3月中旬 支給のお知らせ等発送

4月中旬 振込開始(初回)

以降、随時振込

自動運転の技術実証実験の開始について

1 背景・目的

本市、県および(株)本田技術研究所は、自動運転技術の進化を図り、都市における交通課題の解決に向けた自動運転の実用化を目指すため、令和7年3月31日に「自動運転技術の実証実験に関する協定」を締結しました。

この協定に基づき、市内橘地域において、自動運転技術の実証実験を開始しました。

2 実証実験の概要

- (1) 走行開始日 令和8年2月2日(月)
- (2) 走行日時 月～金曜日、午前9時～日没まで(週1～3日程度)
※通学通勤等の混雑時間帯は控えての実施を基本とします。
- (3) 走行エリア 小田原市橘地域他(2ページ「4 ルート図」参照)
- (4) 走行車両 「CR-V」および「N-VAN e:」(2ページ「5 自動運転車両」参照)
※車両上部等にカメラ等の機器を搭載
- (5) 自動運転レベル レベル2(令和7年度～)、レベル4(令和9年度～(予定))
- (6) 走行速度 時速20km～60km

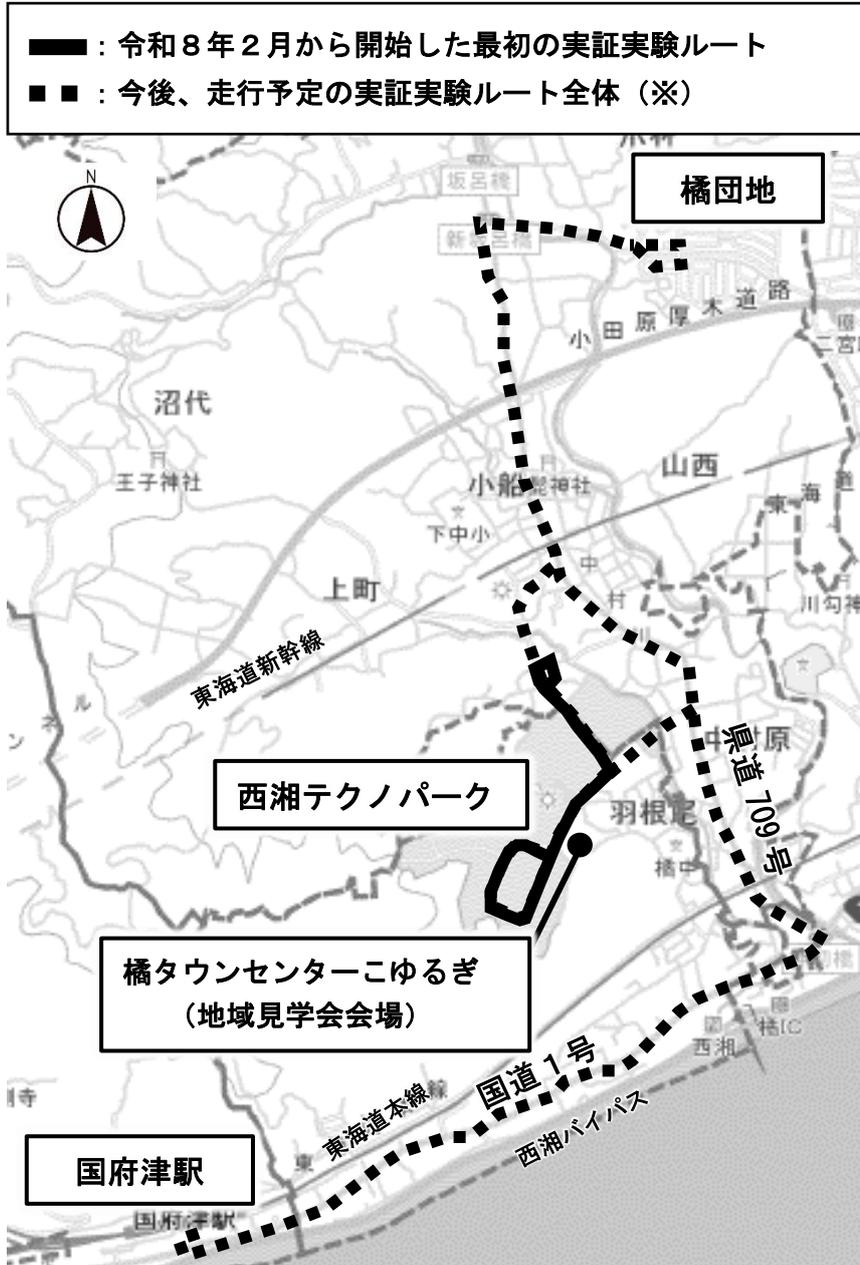
※ 実証実験は、自動運転レベル2(運転席に安全監視員が乗車)で、時速20kmの低速走行から開始します。安全性を確保しながら、順次走行速度を上げ、走行エリアを拡大させていきます。その後、自動運転レベル4(特定条件下における完全自動運転)で走行する予定です。

3 地域見学会について

次のとおり、地域住民向けの地域見学会を開催します。

- (1) 対象 橘地域(前羽地区、下中地区)にお住まいの方
- (2) 日時 令和8年2月18日(水) 午後3時～4時頃
- (3) 場所 橘タウンセンターこゆるぎ(小田原市羽根尾281-3)
- (4) 内容 (株)本田技術研究所による実証実験の概要説明や、実証実験ルートの一部でのデモ走行の見学等
- (5) 定員 30人・申込先着順
- (6) 申込期間 2月12日(木)午後5時まで
- (7) 申込方法 申込フォーム(小田原市電子申請)または電話で地域交通課(0465-33-1267)まで

4 ルート図



※ルート全体については、今後の関係機関等との調整により変更する可能性があります。

5 自動運転車両

(1) CR-V



(2) N-VAN e:(実証期間中に CR-V から移行予定)



※開発中につき、イメージ図